

賛助会員募集趣意書

公益財団法人東京陸上競技協会は、東京都における陸上競技界を統括し、代表する団体として1935年に創立して以来、陸上競技の普及、振興と競技力向上を図り、併せて東京都のスポーツ文化の発展と都民の心身の健全な発達に寄与することを目的として、積極的に諸施策に取り組み、成果を上げてまいりました。

当協会は、平成25年（2013年）7月に公益財団法人となりました。これまでに築き上げてきました実績を継承し、公益財団法人としての責任をしっかりと認識して、財政の確立を図り、さらなる発展に向けて諸事業に取り組んで参りました。引き続き、当協会の目的達成のため、あらゆる努力を払ってまいりたいと考えております。

何卒、この旨をご理解の上、東京陸上競技協会の賛助会員にご協力くださいますようお願い申し上げます。

公益財団法人東京陸上競技協会
理事長 下山 良成

公益財団法人東京陸上競技協会運営方針

1. 東京都のスポーツ文化の発展と都民の心身の健全な発展に寄与する

都民が多く参加できる各種の大会を開催するために、公益財団法人日本陸上競技連盟、東京都及びその他の団体から受託するスポーツ振興事業に積極的に取り組んでいく。

2. 東京都を代表する選手や将来有望な選手の育成

国体はもとより、日本陸上競技選手権大会、オリンピックや世界陸上競技選手権大会などの国際大会で活躍できる選手を育成するために、指導者の養成・強化とともに、未来を担うジュニア世代への陸上競技の体験会・講習会などを通して選手を育成する。

3. 陸上競技の審判員の育成と陸上競技場の整備指導

各種大会や競技会において円滑かつ厳正な運営が行われるように審判員の資質向上と競技場並びに用器具等の整備指導に注力する。

4. 組織の強化

東京都における陸上競技の普及・発展と競技力の向上を図るために、加入団体の育成並びに強化を図ることにより、加入団体とのつながりを深め、加入団体とともに成長する。